

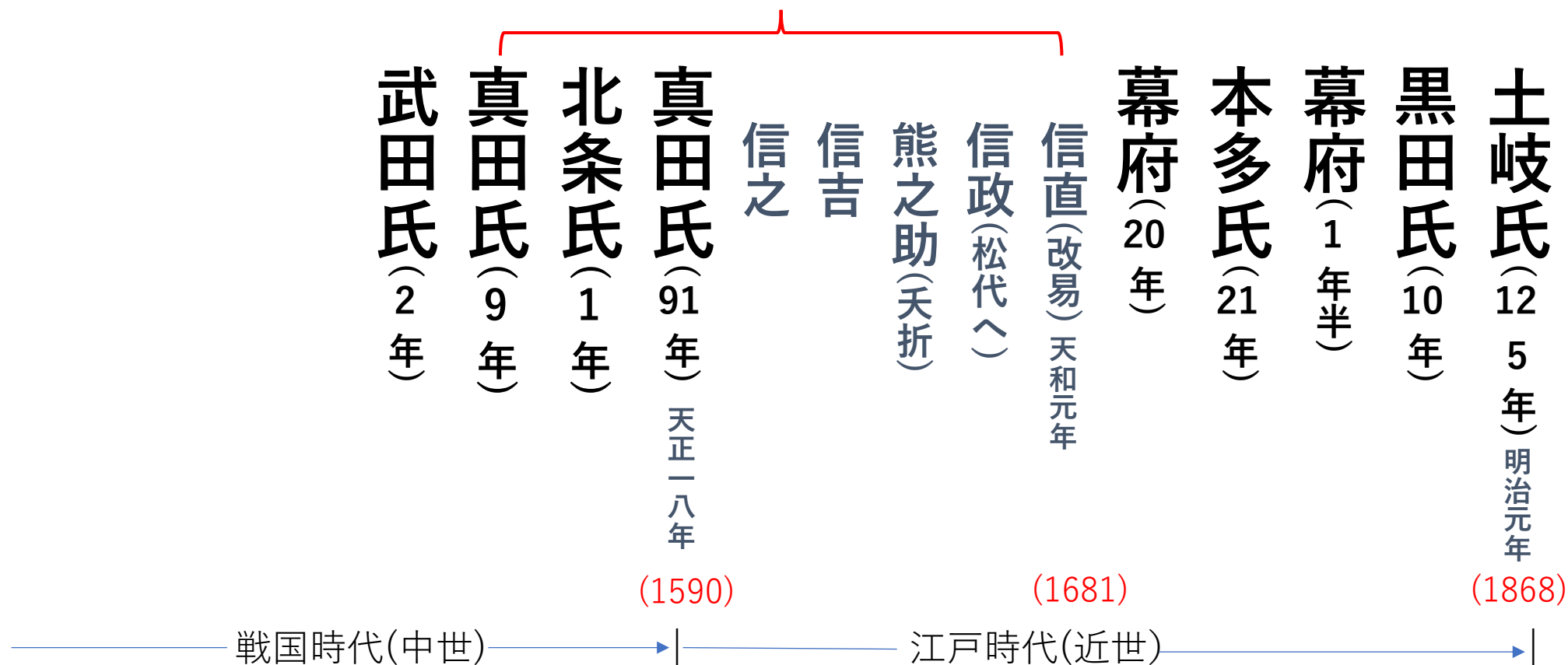
沼田城跡調査成果報告会

令和8年7月11日

# 近世の沼田城

文献担当 藤井 茂樹

# はじめに 沼田城主の変遷



# 1. 倉内城から沼田城へ

## 天正壬午の変(天正10年)

3月11日 武田氏滅亡

6月2日 織田信長自刃

7月12日 北条氏が信濃に侵攻

8月 北条・徳川の対陣

10月28日 北条氏沼田攻め、敗退

11年1月 信濃で上杉軍を撃退

## 真田氏の動向

3月18日 織田信長に臣従

(滝川軍の帰陣を支援)= 倉内城の確保

7月 北条氏に臣従

9月28日 徳川氏に臣従

拠点構築

11年2月23日 沼田城築城に着手

4月 上田城築城に着手

# 沼田城の築城記事（No.33部分/国立公文書館蔵「沼田記事」）

●天正11年(1583)2月、本城ヲ東南ニ開、堀ヲホリ土手ヲ築、広間・書院・居間・

料理ノ間・大門・裏門等ノ普請ニ打立

●河田山・師・後閑ニテ木伐リ城着ス

●石寄奉行小山田壱岐守、不動坂・奈良坂ヨリ引寄ル

●大工木挽処々ニ満チ、瓦焼別処ニ居ス

●足輕五百人、利根吾妻ノ百姓人足、処々ノ普請場へ割渡ス

●同年八月七日台所棟上、同十八日広間棟上、翌月十三日大門棟上、  
屋敷立並へ同十二甲申年九月十五日移徒

●同十三乙酉年二月十二日ニ二・三ノ丸ヲ構へ、土手・升形ヲ築立、九月七日

門建ッ、同月廿六日三ノ門建ッ、同年十一月普請成就ス（2年間）

# 上野国沼田城図（長野県立歴史館蔵）

天正11年 棟上

8月 台所●

広間●

9月 大門●

天正12年

屋敷並ぶ

9月 移徒

天正13年

2月 二ノ丸●

三ノ丸●

土手●

枳形●

9月 門●

三ノ門●

11月 成就



※「長国寺殿御事蹟」の箱にあった図という。廃城記事その他の表示は後筆か

# 昌幸が秀吉に臣従、家康の与力大名に (柴辻俊六『真田昌幸』より)

天正13年 8 月 真田昌幸、家康と手切れ。上杉氏(景勝)と同盟

閏 8 月 第一次上田合戦、徳川軍敗走

9 月 沼田を攻撃した北条軍が敗走

15年3月 真田昌幸が駿府城を経由し上洛、秀吉に謁見



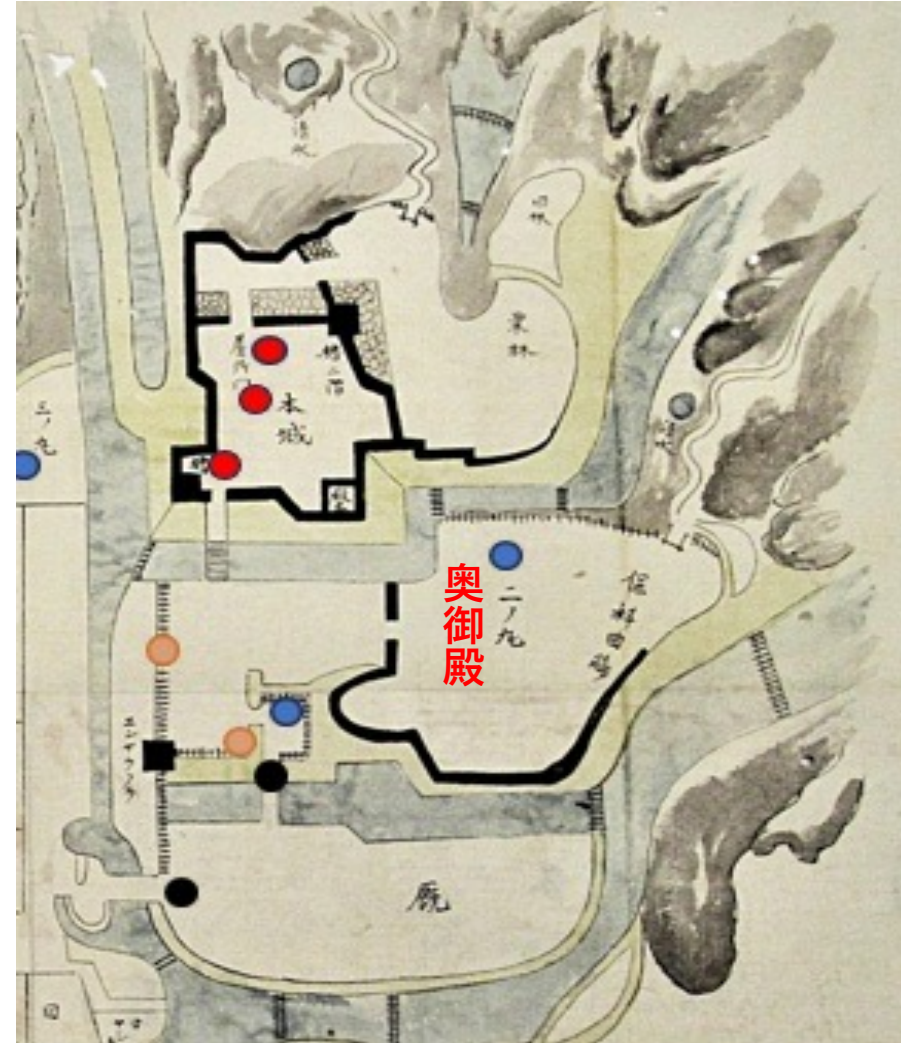
秀吉の指示で家康の与力大名となる



北条氏の沼田攻略が先鋭化 → **真田氏の沼田城守備固め**

# 稲姫を迎え奥御殿造営 (No.34 国立公文書館蔵「沼田記事」部分)

同十六戊子年極月十五日、上意ニ依  
テ本多中務ノ息女、伊豆守ノ縁辺ニ  
付奥ノ作事、**居間・書院・化粧ノ**  
**間・茶ノ間・中朱ノ門・局部屋・風**  
**呂屋・湯屋**、住居ノ品々迄来ル七月  
出来、立ヘシト・・・(中略)・・・  
同十七己丑年正月一日ニ普請始、同  
年七月十四日ニ成就、



## 2，北条氏の沼田攻めと秀吉の沼田領裁定

北条氏の悲願、沼田城の攻略 （加沢記より）

天正 7年 5月 御館の乱に乗じて北条氏が沼田城奪取

8年 6月 武田氏(真田昌幸)が沼田入城

10年 9月 吾妻大戸口から5000余騎

10月 長井坂城、阿曾城に5000余騎が攻めかかる

氏直本隊が滝棚の原から倉内を攻める

13年 9月 氏直が3万8千騎で倉内城を攻めるが籠城を崩せず帰陣

14年 4月 北条軍7万余騎襲来、籠城・夜討・洪水に苦戦し帰陣

15年 2月 由良軍5千騎が襲来、沼須の原で撃退する

17年 7月 秀吉の沼田領裁定で沼田城を受け取る

# 真田氏の沼田城防備（「加沢記」より部分）

《天正13年9月》

◆**城外へ乱杭、逆茂木**をひしと結い  
**兵糧薪**不足なくたくわい置り

◆領分の農民神社仏閣の出家沙門迄  
残らず倉内に走集て籠城、其**勢男**  
**女五千余人**

◆**諸方の木戸口**の辺にて薪を山積置  
たき立、敵木戸口に押し寄、**堀の内へ**・・・**堤四の門へ**・・・其時  
たき立たる炭の火を、板を以て百  
姓等の役にして一度に投げ出しけ  
れは、寄手の鎧甲着物の間に入り  
目口へ入りければ、人馬騒いて引  
退く

《天正14年5月》

◆七重八重に取まき、ひたひたと**門**  
**堀**につきたりけり、矢沢兼て工夫  
有て、**大手の木戸口**を開て置けれ  
は、われ先にとこみ入り**大手の橋**  
を引橋にからくり置、引落し、**三**  
**の丸**より鉄砲打かけ、石打しける  
ほとに橋は焼け落ち出へき様なし

# 北条氏の沼田城普請（「戦国遺文 後北条氏編」より部分）

●「上州之儀者、沼田一城ニ極候、  
普請者猪俣自身鋤を取者、  
其地ニ普請せぬ者ハ有間候：  
・（後略）」

（No. 43 北条氏政書状）

●「肝要之御城之儀ニ候條、此御  
世上ニ弥堅固之備、昼夜不可  
有油断・（後略）」

（No. 44 北条氏照書状）



天正17年7月 猪俣邦憲が沼田城  
に入城

10月 名胡桃城奪取事件

18年7月 小田原落城

・家康 関東移封  
・信之 沼田城主

# 関東の押さえ！沼田城へ信之



家康江戸入部時の  
上野国大名配置

### 3. 豊臣信幸（之）の天守造営

#### 秀吉の信任が厚かった信之

天正17年 信之が家康に謁見

18年 秀吉により沼田城へ

文禄3年3月 伏見城普請

11月 官位叙任

慶長元年(1596) 2月

信幸、沼田城の天守  
造営普請に着手

後陽成天皇口宣案

「口宣案」

「上卿中山大納言」

文禄三年十一月二日 宣旨

従五位下豊臣信幸

宣任伊豆守

藏人頭左大弁藤原頼宣 奉

(No. 46 「戦国遺文真田氏編所収真田文書」)

# 天守造営の記事 (No.46 「沼田記事」 部分)

文禄五年七月改元(一五九六)

慶長元丙申年二月五日、殿主普

請ニ打立、**九間ニ拾間、五重ニ定メ、**

木村土佐守奉行ス、**材木ノ木伐**

**後閑、小日向、**城着迄ノ奉行原郷

左衛門タリ、

石寄奉行小山田壱岐守、羽田雅

楽、**久屋坂、奈良坂**ヨリ引ナリ、

**惣石垣増築、殿守台矢沢但馬守**

奉行ス、

足輕六百人、郷人足、信州ノ百姓、

諸方ノ普請場ニ充々タリ、同年十一

月廿三日百助生、

同二丁酉年二月十九日殿守棟

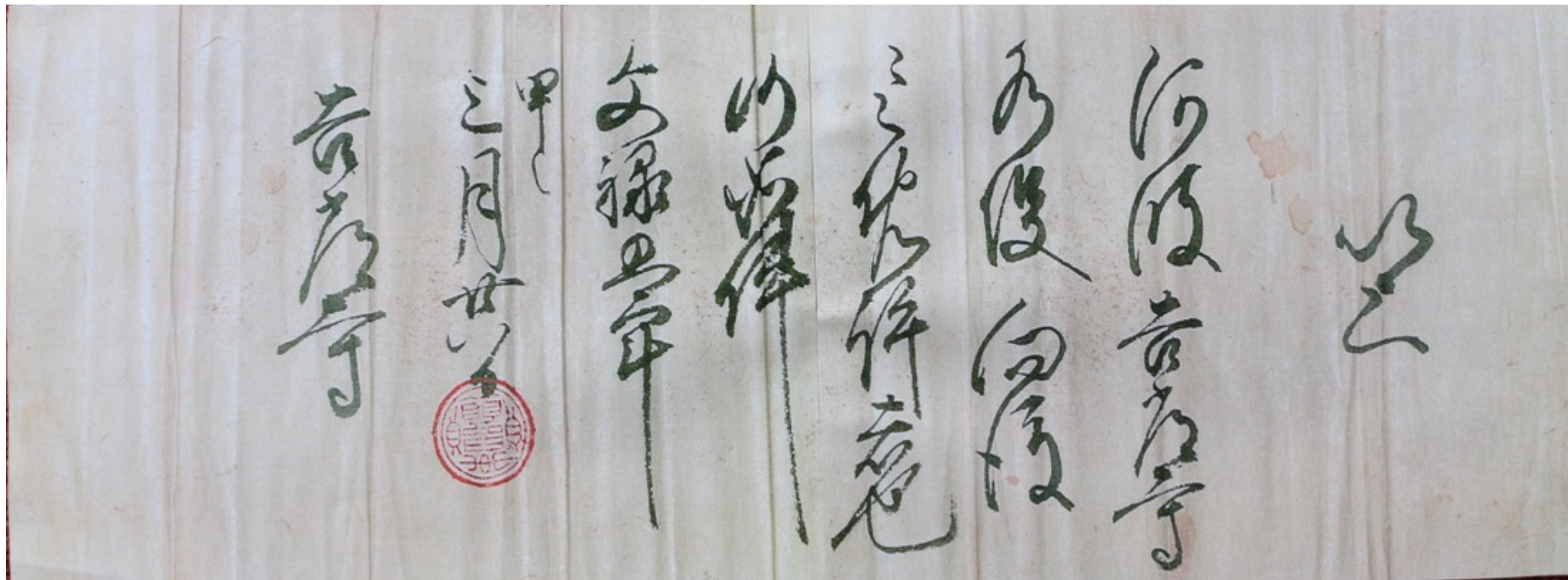
上、同年十一月五日成就ノ祝儀

有リ

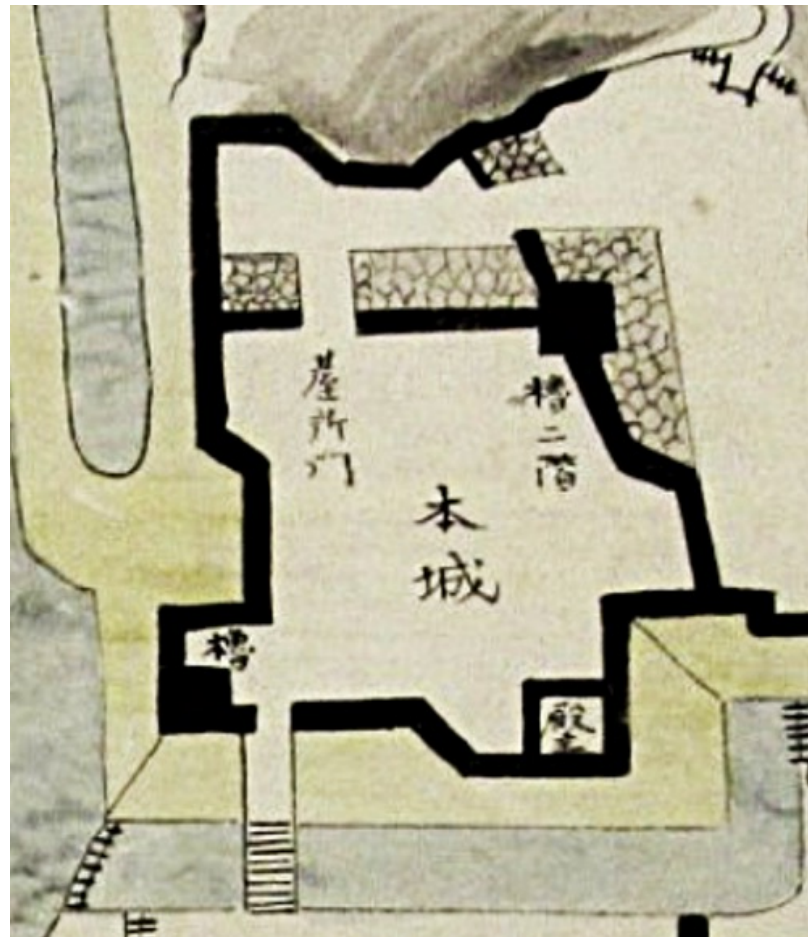
※「沼田記事」

元禄十五年(一七〇二)、幕府役人が三光院にて筆写したものを元に、三年後の冬成立

川場吉祥寺に天守普請の水役を免除した、文禄5(慶長元)年3月28日付、「**真田信幸朱印状**」 (川場村吉祥寺蔵)



天正期と思われる図の本丸



- ・長国寺御事蹟に混じっていた図
- ・**二階櫓の建つ西側が全面石垣**
- ・南側土手の凹凸が逆
- ・本丸堀北と南に柵を設置。

正保城絵図の本丸

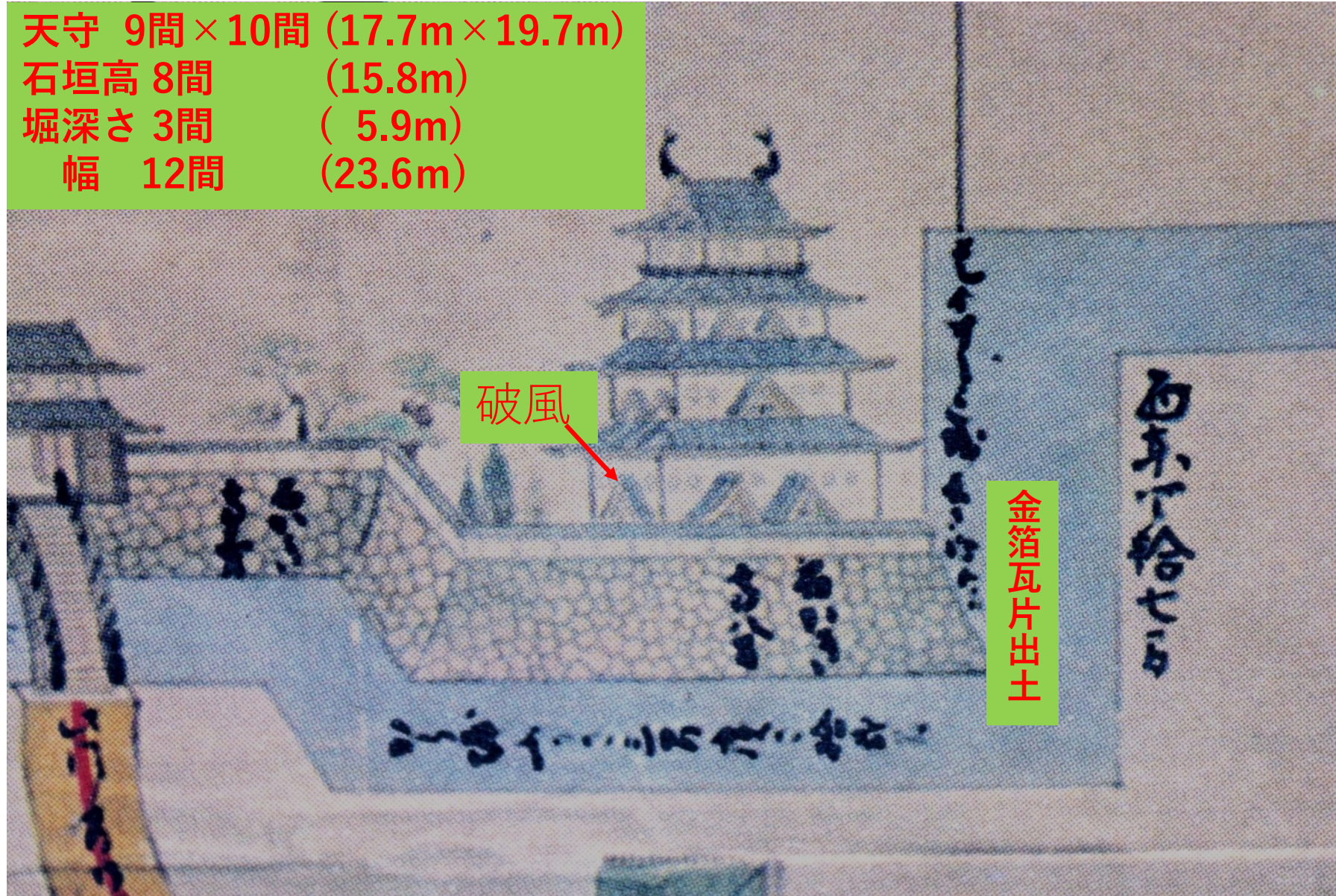


- ・信之の天守造営時に**“惣石垣増築”**
- ・石垣高さ 8 間 (6.5 尺 × 8) = 15m76cm  
その上に狭間を構えた土堀
- ・本丸堀の柵を撤去、ひとつながり

天守造営時に地形改変か

# 正保城絵図の天守

天守 9間×10間 (17.7m×19.7m)  
石垣高 8間 (15.8m)  
堀深さ 3間 ( 5.9m)  
幅 12間 (23.6m)



破風

金箔瓦片出土

取り壊した時の  
目論見図に画かれた五重天守（大分県中根家所蔵）



# 平成28年度本丸堀跡調査



金箔軒丸瓦



金箔



小菊瓦



3 トレンチ 整地層 1 第101図 3

上田城の鬼瓦・鯨瓦・菊花文軒瓦



29 上田城跡出土菊花文軒丸瓦 当館蔵



28 上田城跡出土の金箔瓦 鯨瓦(右)・鬼瓦(左上) 当館蔵

# 金箔瓦は、菊紋・桐紋瓦の「赦免」制と連動か？

文禄4年8月3日公布

「御掟」5箇条、及び

「御掟追加」9箇条より抜粋

※金箔瓦の出土

確実な根拠はないが、秀吉が

「御赦免」した菊紋瓦や桐紋瓦とセットで出土するケースが多い。

之事

(『史料による日本の歩み』所収文書)

一諸大名縁辺之儀得御意、  
以其意  
可申定事

一衣裳紋御赦免外、  
菊桐不可付之

於御服拝領者、  
其御服所持間者

可着之、  
染替別衣裳、  
御紋不可付

## 4. 関ヶ原以後の増築、修改築(国立公文書館蔵「沼田記事」より部分)

### 【信之・信吉代の増改築】 (No.51)

慶長 9年(1604) ・ **西ノ三階** ・ **水ノ手門**ノ普請ニ打立

17年(1612) ・ **三** ・ **四ノ丸**ヲ割立、**土手** ・ **升形**ヲ築、観音堂ノ西ニ  
**堤**ヲ拵へ**惣堀**ヲホリ流レニナス

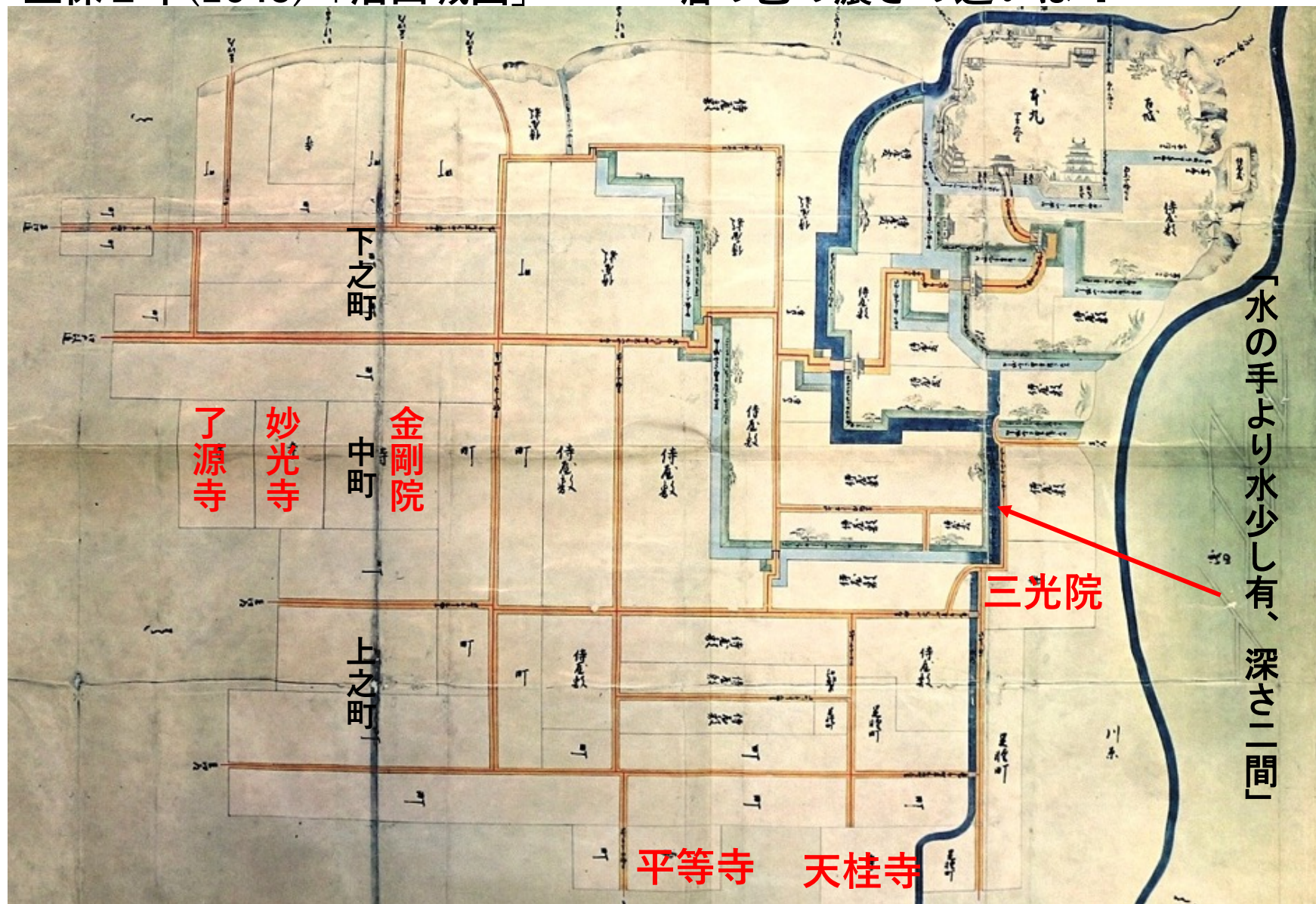
**慶長19年20年** (1614~15) **大坂冬の陣・夏の陣**→豊臣氏滅亡

寛永 9年(1632) ・ **表ノ三階**普請ニ打立

11年 ・ **鐘楼**が建つ (時鐘) ・ ・ (時鐘の銘文より) ・ ・ ・ 城の完成

## 正保2年(1645)「沼田城図」・・・堀の色の濃さの違いは？

・慶長17年「惣堀をホリ流レニナス」  
寛保二年（一七四二）土岐氏の内偵報告書「上州沼田考  
量」に土地の者の話として、昔は堀が「青々としてい  
た」と書かれている。



## 【信直代の修改築】

(No.53 No.54)

万治元年正月

7月

3年

- ・ **殿守三階、二・三・四ノ門**修復
- ・ **本丸ノ地形、惣堀、殿守修復**ニ打立テリ
- ・ **天守・櫓・石垣**等破損御修復、万治三子年有増成就す、此節瀧坂より土を取、**地形五尺余上る**也 (沼田物語)

(寛文5年

寛文10年

延宝8年力

- ・ **川場用水に桜川の水を加えようとしたが失敗)**
- ・ **十人番所**を建てる (沼田市史所収「家中役人諸事奉覚書」)
- ・ **大御門橋、三ノ御門橋、溜御門橋**ヲ掛替ル

(沼田市史所収「家中役人諸事奉覚書」)

# 【万治2年の大工・左官支払記録】 (加沢記紙背文書)

- (6)月13日・大工賄=鯖七拾五入壺表買申候代、作右衛門渡ス
- ( ) ・しゃくわん(左官)文左衛門、忠右衛門、六月賄銭
- ( ) 同日・大工まかない、さは三表かい申候代、後閑新左衛門渡ス
- ( ) ・しゃくわん文〔左衛門〕七月分、同断忠右衛門三人分
- ( ) 同日 ・大工まかない、さは三表かい申候代、後閑新左衛門渡ス
- ( ) 同9日 ・大工八左衛門、八月分まかない廿八日分
- ( ) ・大工賄にいわし五表買申候代
- ( ) ・大工矢まつりさい=成申候、さは六十本
- ( ) ・しゃくわん文左衛門、忠右衛門、八月ト三十四日分兩人

一以下略一

※3月から10月までの支払いが書かれている

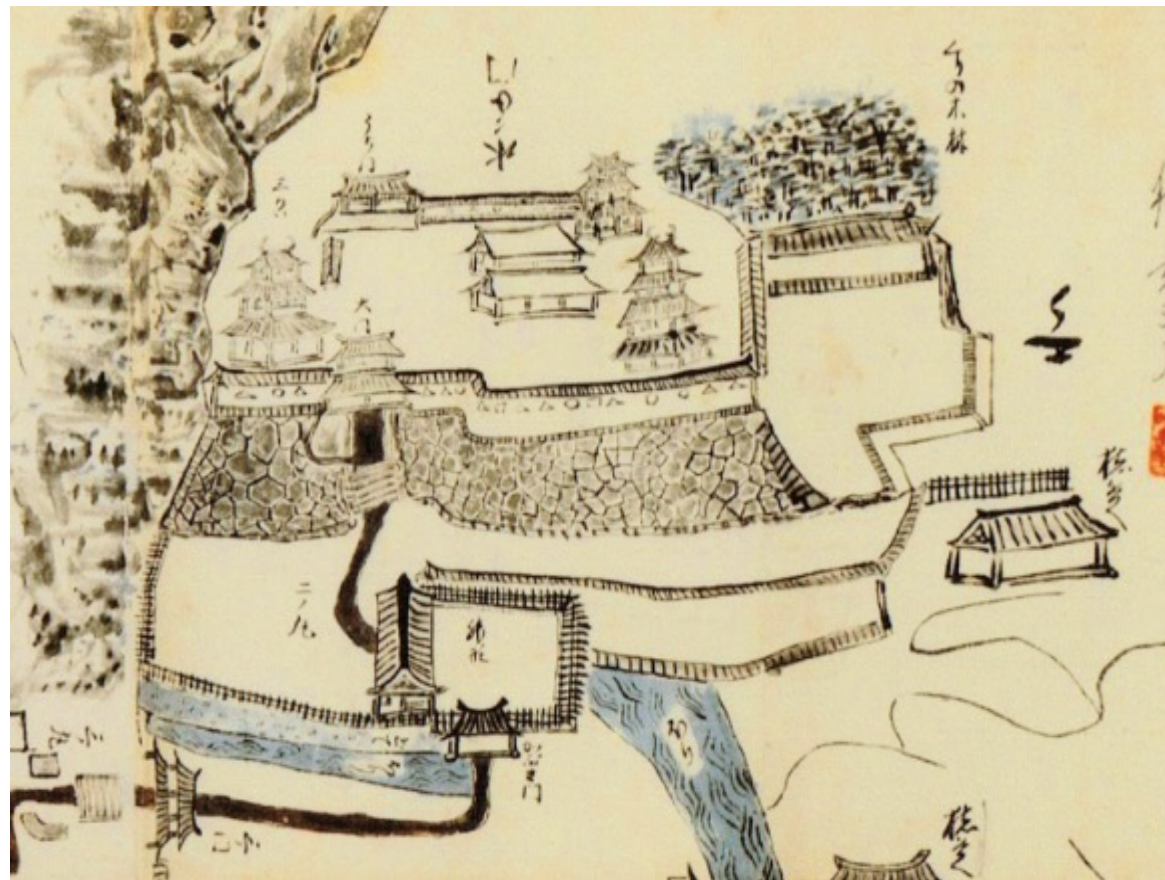
# 近世沼田城の景観（「沼田城破却記」他）

## 本丸

天守 大門 西三階櫓 表三階櫓  
広間 書院 料理ノ間 惣曲輪  
長屋 十人番所 台所 水ノ手門  
土手（堤） 土手上的柵 鐘楼

## 本丸の外

二ノ門 三ノ門 溜門 大手門  
水ノ手曲輪 煙硝蔵 橋（三カ所）  
厩 御搗屋 升形 馬出 本丸堀  
内堀 外堀



※天守＝城下を見下ろし領主の威厳を示すシンボル 猿ヶ京区有沼田城図

(川場村歴史民俗資料館所蔵)



